

イザベルをめぐる72人のEYE

Woman of Many Faces

Richard Avedon

Henri Cartier-Bresson

Robert Frank

Helmut Newton

Herb Ritts

杉本 博司

イザベル・ユペール展

2006 7¹ sat > 8⁶ sun

休館日/毎週月曜日 ただし、7月17日(月・祝)は開館し、18日(火)休館
開館時間/午前10時～午後6時(木曜・金曜は午後8時まで、入館は開館の30分前まで)

【入場料】 一般 800(640)円 学生 700(560)円
中高生・65歳以上 600(480)円
()内は20名以上の団体料金

※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料 ※東京都写真美術館友の会会員は()内の料金

東京都写真美術館 B1
www.syabi.com



フランスを代表する女優、イザベル・ユペールだけを被写体に、世界的に活躍する72人の写真家が撮影したポートレートを集めました。イザベルは1955年、フランス・パリ生まれ。大学時代に演劇に興味を持ち、パリのコンセルバトワールで学び、1971年に映画「夏の日のフォスティヌ」でデビューしました。その後も数々の映画で活躍しています。被写体は同じ人物でありながら、名だたる写真家がそれぞれの手法で撮影することで、一人の女優であるにもかかわらず、さまざまな表情を見せます。こうした表情の変化は、役作りで雰囲気を変えられる女優が被写体だからというだけでなく、写真家が表情を引き出すことも分り、見る者を飽きさせません。この展覧会は2005年11月にニューヨークで始まり、パリ、ベルリン、マドリードを巡回。東京開催後も世界巡回は続きます。なお、展覧会と並行して7月15日(土)から21日(金) (7月18日(火)は休館)まで、1階のホールでイザベル・ユペールが主演した映画「勝手に逃げる／人生」(ジャン＝リュック・ゴダール監督作品)、「いつか、きっと」(オリヴィエ・ダアン監督作品)など6本を無料で上映します。

リチャード・アヴェドン / アンリ・カルティエ＝ブレッソン /
ロバート・フランク / ヘルムート・ニュートン /
ハーブ・リッツ / 杉本博司 / ブルース・デビッドソン /
ロベール・ドワノー / ウィリアム・エグルストン /
ナン・ゴールディン / アニー・リーボヴィッツ /
サラ・ムーン / マルク・リプー /
ジョエル＝ピーター・ウイトキン 他

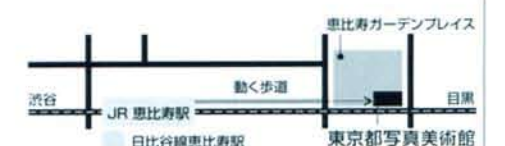
主催：毎日新聞社 共催：東京都写真美術館 Joany Editions 協賛：Agnès b. アット エンタテインメント株式会社
後援：フランス大使館 Ambassade de France au Japon 協力：ユニフランス東京
お問い合わせ：毎日新聞社事業本部 03・3212・0903

★イザベル・ユペール主演映画
「ジョルジュ・バタイユ ママン」 ―美しくも残酷に (レイトロードショー)
●7月1日～14日 テアトルタイムズスクエア(新宿) ●7月15日～8月11日 銀座テアトルシネマ

東京都写真美術館 B1
www.syabi.com

Woman of Many Faces
イザベル・ユペール展

2006 7¹ sat > 8⁶ sun



〒153-0062 東京都目黒区三田13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL 03-3280-0099
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分(動く歩道使用)